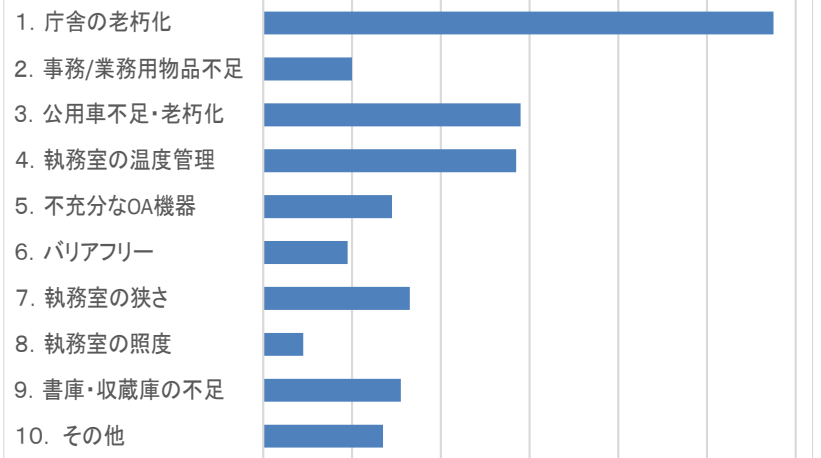


コロナ対策の今後、人員組織の要望、職場環境の課題など ～職場要求アンケートを集約しました～

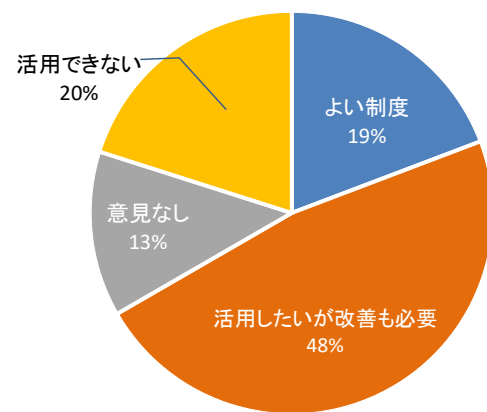
自治労県職は、職場の課題改善の声（要求）を把握し、交渉などを通じて要求実現を図るために「2020職場要求アンケート」を実施しました。例年以上に多くの組合員の皆さんから回答を頂きました。その結果を集約しましたので、その一部を以下のとおり報告します。今年は新型コロナ対策の課題が、職場から多く寄せられていますので、改めてアンケート項目に追加して調査をしました。新型コロナ対策を通じて、改めて人員の課題や働き方の課題、県行政の役割が見える側面があり、アンケートからもその意識が反映されています。組合では、このアンケート結果を踏まえて、先日の交渉しました「2021年度予算・職場要求交渉」を始め、今後の取組に反映していきます。引き続き組合員の皆さんの取り組みへのご協力をお願いします。

Q あなたの職場環境での問題は何ですか。（2つ以内）



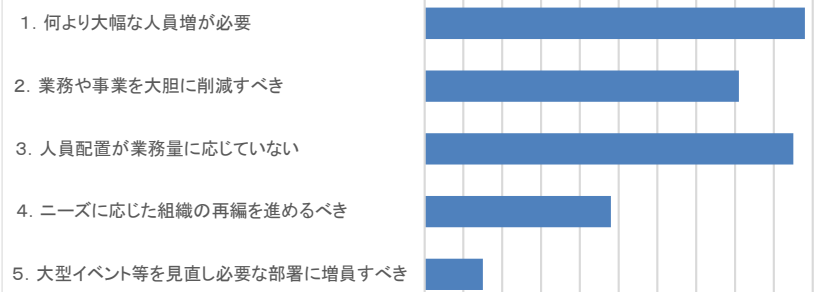
●最も多くを占めたのが「庁舎の老朽化」でした。多額の予算確保を伴うため改善が遅れています。「公用車の不足や更新」も要望の多い課題です。「執務室の温度管理」の問題も業務と健康管理の面から要望は強く出ています。「狭隘な執務室」「OA機器の不足」「書庫等の不足」の声も寄せられています。

Q 在宅勤務が新型コロナ対策で実施が拡大されてきましたが、どのように受け止めますか



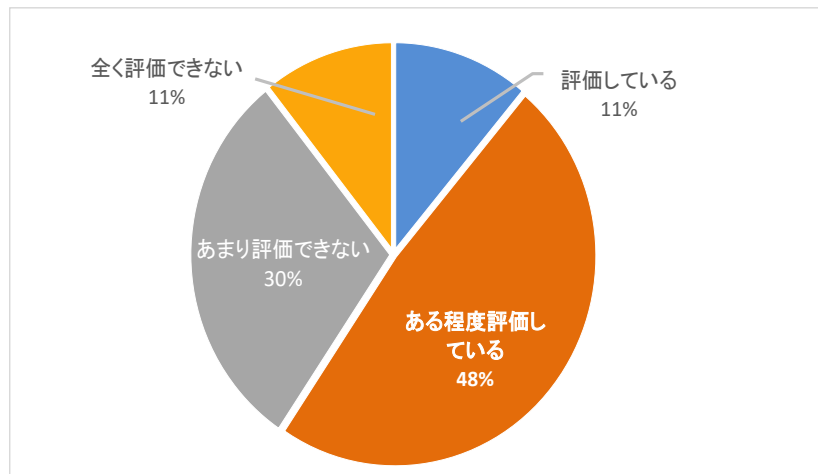
●概ね「制度を肯定する」意見が7割近くを占めていますが、一方で「改善が必要」が5割、「活用できない」が2割という回答は課題の多さを示しています。

Q 人員や組織に関して、どのような課題を感じますか。（2つ以内）



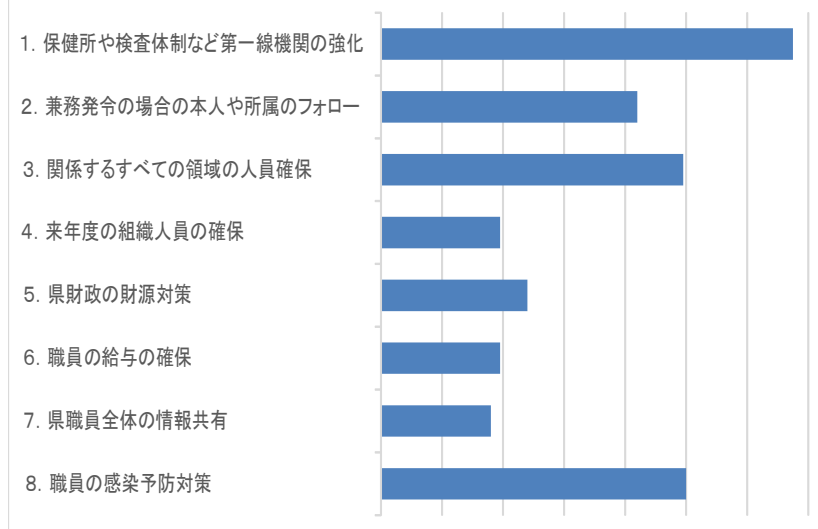
●人員については、新型コロナ対策の課題もあり、大幅な人員増を望む声や、人員配置と業務量のギャップを指摘する回答が多くを占めています。その裏返しの声として業務や事業を大胆に減らすべし声も多く寄せられています。

Q 新型コロナ対策で「滋賀1/5ルール」として「出勤者8割削減」等がなされましたが、どのように受け止めていますか。



●「出勤者8割削減」は急な取り組みであったので、混乱もありましたが、感染予防等の意味からこの取り組みを「評価している」「ある程度評価する」との回答が過半を占めました。

Q 新型コロナ対策で、今後の第二波・第三波に備えて何が課題とありますか（複数回答可）



●「保健所など第一線機関の強化」は、最も多くの回答があり、「関係する全て領域の人員確保」「兼務発令の場合のフォロー」などマンパワー確保を求める声が強くと示されました。また、当然ながら「職員の感染予防対策」を求める声も多数寄せられています。

